



事業体制の強化を推進し、 更なる成長を実現してまいります。

株式会社プレステージ・インターナショナル

代表取締役 社長執行役員 **玉上 進一**

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社グループの第29期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2015年3月期第2四半期の業績について

第29期は、国内においては秋田BPOキャンパス・山形BPOガーデン・富山BPOタウンの3拠点運営に向けた体制構築、海外においてはインシュアランスBPO事業における業務拡大に備えた体制強化に注力しております。

BPO業界においては、企業収益の改善や設備投資の増加など景気の回復傾向の影響から、顧客満足度の向上を目的としたアウトソーシングを積極化する動きが見られております。

そのような環境において、当社グループの2015年3月期第2四半期は、主にロードアシスト事業及びインシュアランスBPO事業において既存受託業務を中心に事業が堅調に拡大したことにより、売上高は前年同期比11.0%

増となりました。営業利益につきましては、効率化などにより原価抑制の効果があった一方で、当社グループのサービスを支える人材に関して、採用環境の激化から適正人員を確保できていない課題もあり、同18.5%増となりました。また、経常利益は、主に持分法投資利益68百万円の計上により同30.1%増、四半期純利益は、同6.8%増となっております。

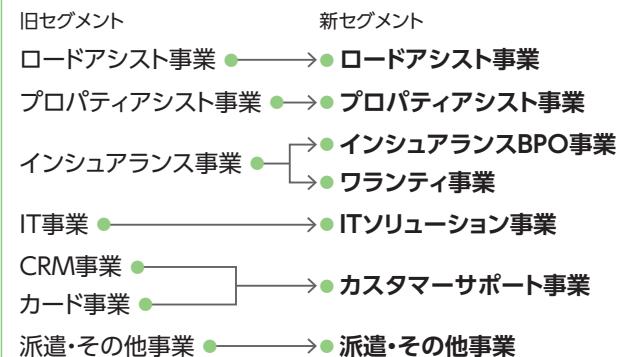
なお、第29期より、成長分野をより明確化する目的で、事業セグメントを一部変更しております。

下期の取り組みや今後の見通しについて

3拠点(秋田・山形・富山)運営に向けた体制構築が足元の課題です。

当社グループにおいては、成長のための先行投資は重要課題であり、その大きな要素となる人材に関して、BPO拠点を展開している地方都市においても求人倍率が1倍を超える環境になっております。加えて、クライアント企業からの需要も依然と高い水準にあります。

セグメント変更



当社グループが目指す「感謝・感動」を追及したサービスの実現には品質を向上することが不可欠であるため、下期においては、人材確保を中心とした体制構築のための先行投資を積極的に行ってまいります。

人材確保の取り組みとしては、託児所やカフェテリアなど女性が働きやすい就業環境の魅力をより訴求した採用活動や、地域限定正社員の積極登用や研修制度の充実などを進めています。

2015年4月始動！企業スポーツ参入へ

また、雇用促進には地域における認知が不可欠という観点から、BPO設置拠点である秋田・山形において実業団チーム設立の準備を進めております。地方都市は実業団チームが少なく、スポーツをしたい若者の活躍の場が限られる点に着目し、若者が安心して地元に戻ってくることのできる環境、そして女性がより一層活躍できる場を整

備することで、企業の認知度向上及び企業ブランドの確立を目指したいと考えております。

競技種目に関しては、日本海側の降雪の多い地域であることを考慮し、季節を問わずプレーができる室内スポーツ、そして、当社BPO拠点で働く従業員の約7割が女性という点から、秋田は女子バスケットボール、山形は女子バレーボールとしました。富山については、2016年春の活動開始を目指し、競技種目を検討する予定です。実業団チームの活躍に地域の関心が寄せられることで、従業員の就業意欲や組織全体としての一体感の向上にもつながると考えております。

今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、グループ企業の役員・従業員一丸となり邁進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



※画像はイメージです。

2014年度上期 連結業績サマリー 前年同期比

売上高	11,576百万円	11.0%増 ↑
営業利益	1,518百万円	18.5%増 ↑
経常利益	1,545百万円	30.1%増 ↑
純利益	1,072百万円	6.8%増 ↑

配当の状況

1株当たり配当金 5円

中期事業方針の進捗

当社グループが2012年5月に策定した中期事業方針。3つの主要方針のうち、今回は「提供サービスの強化」と「事業インフラの開発」にテーマを絞り、その進捗状況をご報告します。

提供サービスの強化「ワランティ事業」

家主・入居者双方の安心を守る、家賃保証プログラム

“不便さ”が残る不動産業界に新たな価値を提供。

ワランティとは、一般的に「保証」を意味する言葉。「入居したいが保証人がいない」「入居してもらったのはいいが、家賃が滞納されている」といった入居者・家主双方の不動産にまつわる“不便さ”を当社グループが当事者に代わって手続きを代行し、保証するサービスを強化しました。

入居者にとってはスムーズな住み替えに加え、入居後も充実したサポートサービスが受けられ、安心・快適。また家主にとっても、連帯保証代行による賃料収入の安定や督促手続きの煩わしさの解消など、不動産賃貸業の経営が効率化されます。

営業拠点、人員の追加などの積極投資で、売上高20%増を目指す。

ワランティ事業は、従来のインシュアランスセグメントに属していましたが、家賃保証プログラムが好調で成長軌道に乗ってきたため、2015年3月期より新セグメントを適用。ワランティ事業として独立し、成功要因を明確に数値化し、他分野へも展開する体制を整えました。

それに伴い、岡山や仙台にも営業所を増設し、新たな人員も確保。今後の事業拡大に備えて情報システム開発も積極化し、2015年3月期の売上高20%増を目指しています。

※家賃保証プログラムは、グループ会社イントラストとオールアシストが運営しております。

家賃保証プログラムのスキーム



事業インフラの開発「富山BPOタウン」

2014年10月仮センター稼働開始。更なるサービスの充実のために、1,000名の体制へ

2015年4月操業予定。主要業務を徐々に移管し、事業継続性を強化。

2014年10月に仮センターを開設し、研修や業務を開始した富山BPOタウン。2015年4月の本格稼働に向けて着々と準備を進めています。今後は、災害時に備えたリスク分散の観点から、主に秋田BPOキャンパスで行っている主要業務を徐々に富山BPOタウンに移管する計画です。

より地域に開いたBPO拠点をめざし、全拠点で地元出身の女性を積極的に雇用、また周辺の皆様との交流を深めるために、個人投資家向け説明会なども開催しています。

BPO所在地



富山BPOタウン概要

- 所在地：富山県射水市
- 敷地面積：約63,000㎡
- 操業開始：2015年4月1日（予定）
- 投資額：約30億円
- キャパシティ：1,000席
- 構成設備：託児所、カフェテリア、社員寮、研修施設、自家発電装置、駐車場

Interview 男女問わず活躍できるステージを。富山でNo.1の職場づくりをめざします。

7月1日よりオープンした開設準備室に10月1日付で第1期スタッフ31名が入社し、研修を開始しています。また、11月からは、2015年1月入社予定の第2期スタッフの募集に向け、会社説明会と採用試験の開催しております。



富山BPOタウン 採用担当
中島 久美子

富山BPOタウンの建築も着々と進んでおり、2015年4月の開業時に向け、万全の態勢で臨めるように今後の採用活動に邁進していきます。

TOPICS 1 東証、大和証券、3社共催の会社説明会を秋田BPOキャンパスで開催

東京証券取引所が提唱するニッポン企業応援プロジェクト「+YOU」。その一環として、2014年6月24日、秋田BPOキャンパスで会社説明会を開催しました。

講師にセゾン投信株式会社代表取締役社長の中野晴啓氏を招き、当社玉上社長との対談や会社見学会などのプログラムを通じて、投資の経済的意義や企業の地域貢献について解説。一般の皆様にもわかりやすい表現や構成で、当社グループの存在価値をアピールしました。地域における雇用の創出や従業員を大切にする姿勢、充実した施設内容に、参加者の皆様から理解と賛同をいただく貴重な機会となりました。



参加者の声



近くにいながら初めて見学しました。女性に優しい職場環境と言う感じです。



玉上社長の人柄に触れることができ、好印象を持ちました。



中野社長の講演は、すごくわかりやすいお話で、ためになりました。

TOPICS 2 山形BPOガーデン、グッドデザイン賞、日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」「東北経済産業局長賞」のトリプル受賞を達成!

山形BPOガーデンが2014年度グッドデザイン賞、そして第27回日経ニューオフィス賞の「ニューオフィス推進賞」「東北経済産業局長賞」に輝きました。受賞にあたっては、開放的なオフ空間を設け、女性を中心としたスタッフのストレスを軽減、対話を促進する仕組みを実現した点や自治体と連携し、地域社会への貢献を推進している点などが高く評価されました。



©沖 裕之 (Blue Hours)

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円未満切り捨て)

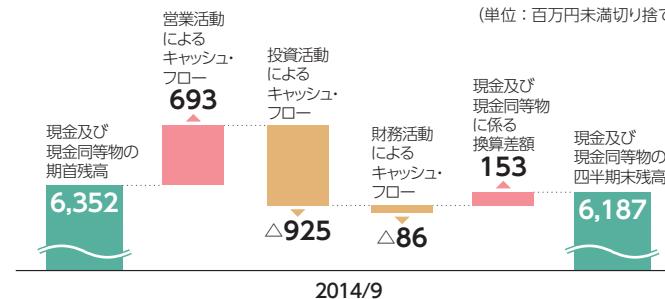
科目	当第2四半期 2014/9/30現在	前期 2014/3/31現在	増減額
資産の部			
流動資産	13,260	13,137	123
固定資産	7,141	5,476	1,665
有形固定資産	4,629	3,233	1,395
無形固定資産	809	789	20
投資その他の資産	1,703	1,453	249
資産合計	20,402	18,613	1,788

負債の部			
流動負債	5,096	4,569	526
固定負債	555	577	△22
負債合計	5,652	5,147	504

純資産の部			
株主資本	13,730	12,756	973
その他の包括利益累計額	932	637	295
少数株主持分	63	62	1
純資産合計	14,750	13,466	1,284
負債純資産合計	20,402	18,613	1,788

連結キャッシュ・フロー計画書の概要

(単位：百万円未満切り捨て)



POINT 1 総資産(流動資産+固定資産)

前期末比 **1,788百万円増** ↑

総資産増加の主な内訳として流動資産が現金及び預金が311百万円減少、立替金が285百万円増加、固定資産は富山BPOタウンの建設に関わる費用の増加など1,665百万円増加したことにより、前期末比1,788百万円増加となりました。

流動資産/固定資産(単位：百万円未満切り捨て)



POINT 2 純資産/自己資本比率

当第2四半期末の純資産は、利益剰余金が919百万円増加したことなどにより、前期末比1,284百万円の増加となりました。また、富山BPOタウンへの投資を行いつつ、財務体質の健全化及び強化に努めてきた結果、当第2四半期末の自己資本比率は71.9%となりました。

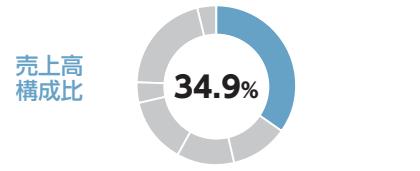
純資産/自己資本比率(単位：百万円未満切り捨て/単位：%)



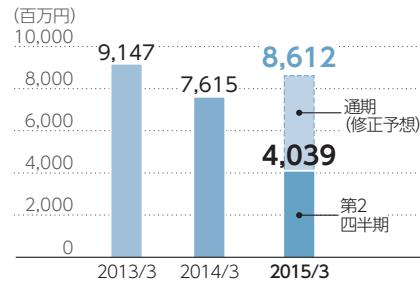
事業別業績サマリー

ロードアシスト事業

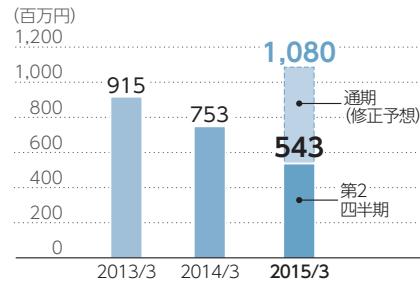
主に損害保険会社向けのサービスにおいて既存受託業務が順調に拡大したことに加え、新規受託業務の開始により、増収となりました。営業利益については、サービス利用に伴う費用の抑制やシステム化による手配工数削減などが奏功し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **13.4% 増** ↑

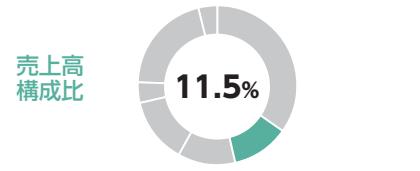


営業利益 前年同期比 **67.6% 増** ↓

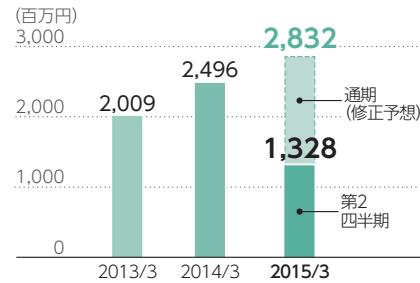


プロパティアシスト事業

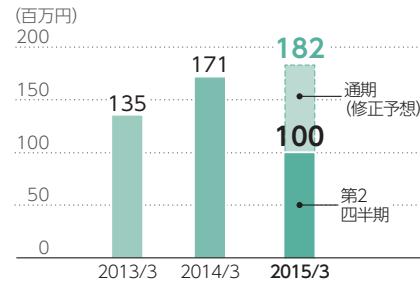
主に不動産向けサービスにおける既存受託業務の成長により、増収となりました。営業利益については、フィールドワーク専門子会社において拠点拡充や機能強化のための先行投資が発生したものの、売上高の拡大で吸収し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **8.0% 増** ↑

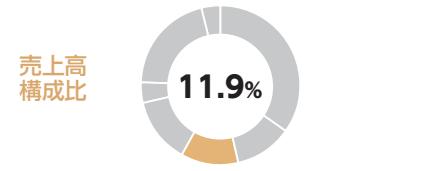


営業利益 前年同期比 **12.9% 増** ↑

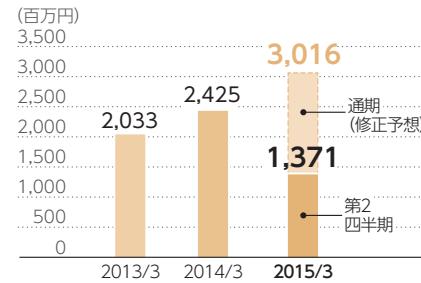


インシュアランスBPO事業

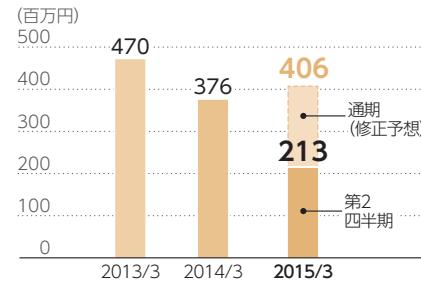
海外関連事業(クレームエージェンツサービス、ヘルスケア・プログラム)が堅調に拡大したことにより、増収となりました。営業利益については、海外拠点の拡大などの先行投資が発生したものの、売上高の拡大で吸収し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **21.1% 増** ↑

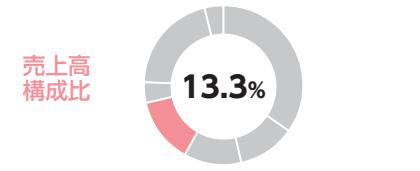


営業利益 前年同期比 **25.9% 増** ↑

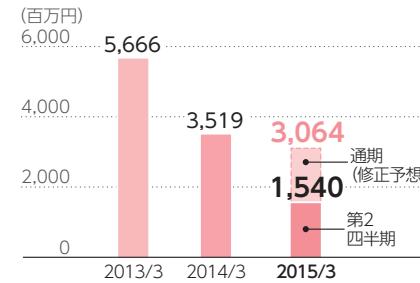


ワランティ事業

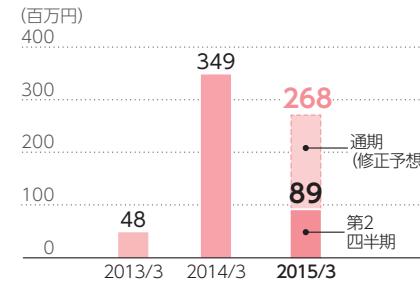
主に家賃保証プログラムが好調に推移し、増収となりました。営業利益については、主に自動車延長保証・メンテナンスプログラムにおける既存受託業務の終了と新規プロジェクトの立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。



売上高 前年同期比 **2.7% 増** ↑

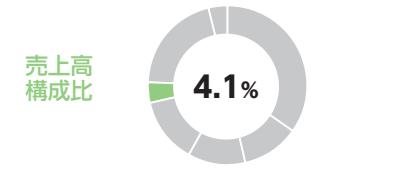


営業利益 前年同期比 **32.5% 減** ↓

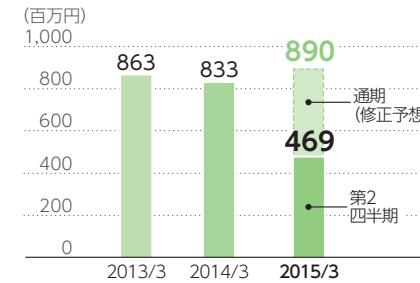


ITソリューション事業

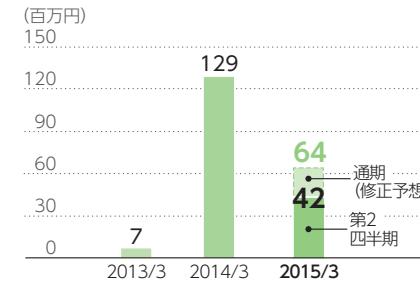
IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移し、増収となりました。営業利益については、新規事業の立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。



売上高 前年同期比 **7.7% 増** ↑



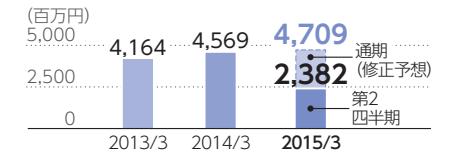
営業利益 前年同期比 **45.1% 減** ↓



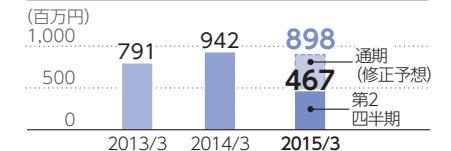
カスタマーサポート事業



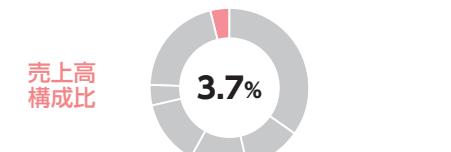
売上高 前年同期比 **6.9% 増** ↑



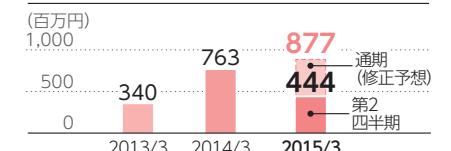
営業利益 前年同期比 **3.0% 増** ↑



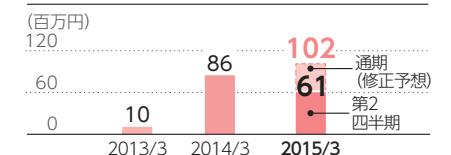
派遣・その他事業



売上高 前年同期比 **30.9% 増** ↑



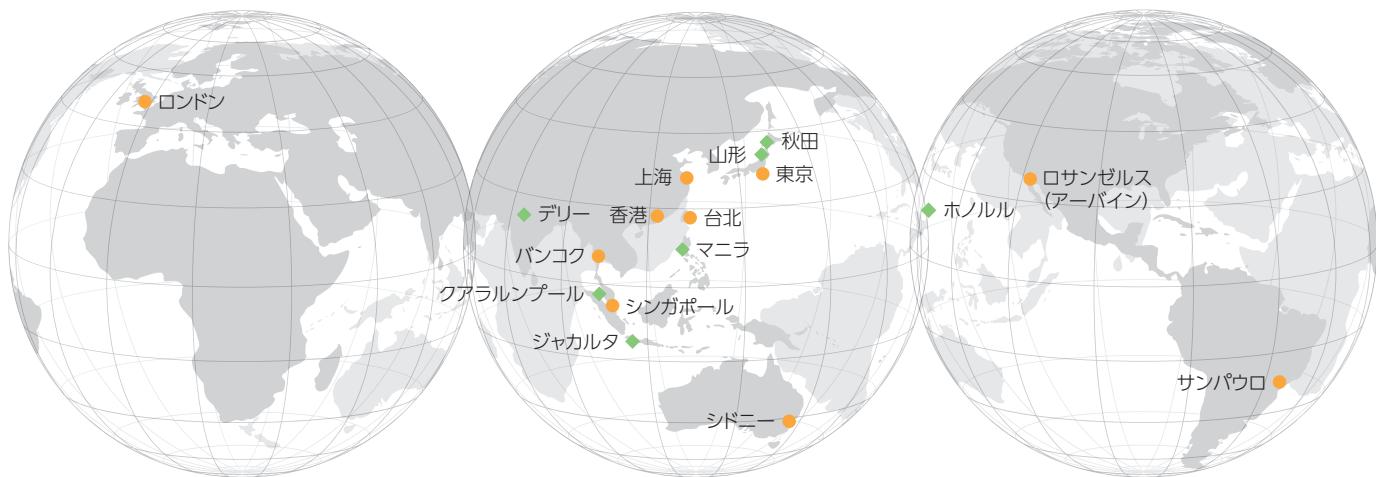
営業利益 前年同期比 **77.3% 増** ↑



会社概要

ネットワーク (2014年9月30日現在)

● 法人 ◆ 支店・駐在所



グループ会社

国内

Prestige Humansolution Inc. Premier IT Solution Inc.
 Time Commerce Co., Ltd. Premier Park Assist Inc.
 Premier Assist East Inc. Premier X-value Inc.
 Premier Assist West Inc. Premier Lotas Network Inc.
 All Assist Inc. Triple Ace Inc.
 Premier Property Service Inc. Exigen Asia Pacific Inc.
 Entrust Inc. AppGT Inc.

米州・欧州

Prestige International USA, Inc.
 Prestige International U.K. Ltd.
 Prestige International Brazil Participations Ltd.

アジア・オセアニア

Prestige International(S) Pte Ltd.
 PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.
 PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.
 Prestige International(HK) Co., Limited
 PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD.
 臺灣普萊斯梯基有限公司

関連会社

Prime Assistance Inc.
 (損保ジャパン日本興亜ホールディングスとのジョイントベンチャー)

会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
 Prestige International Inc.
 設立 1986年10月
 資本金 11億5,303万円
 本社所在地 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
 事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング
 従業員数 2,251名(連結)
 拠点 世界14ヶ国 17拠点
 U R L <http://www.prestigein.com/>

会社役員 (2014年6月24日現在)

代表取締役 社長執行役員 玉上 進一
 取締役 副社長執行役員 八久保 勝也
 取締役 常務執行役員 関根 浩
 取締役(社外) 大向 尚子
 監査役(常勤) 吉田 範夫
 監査役(常勤) 金山 武志
 監査役 三上 純昭
 監査役 神門 いづみ

株式情報

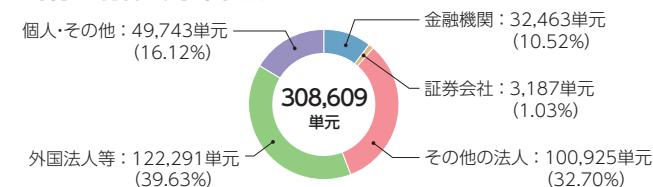
株式の状況

発行可能株式総数 106,752,000 株
 発行済株式総数 30,862,400 株
 株主数 2,741 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミインターナショナル	8,014,200	25.96
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,200,000	7.12
株式会社南部エンタープライズ	1,849,400	5.99
ジエーピーモルガンチエース ユーエス ペンション トリーティ ジヤスデツク (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,695,400	5.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,356,500	4.39
ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティ ジヤスデツク アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,232,307	3.99
ビービーエイチ ファイデリティ ピューリタン ファイデリティ シリーズ イントリシツク オポチュニティズ ファンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	905,700	2.93
南部 靖之	900,600	2.91
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オールセクター サポートフォリオ) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	803,100	2.60
玉上 進一	798,600	2.58

所有者別株式分布状況



株主様へのアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声を伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくて考えております。お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

キリリ

【株主の皆様へのアンケート】

- Q1. 今回のFINANCIAL REPORTをどのようにご評価されますか？**
 ① 大変満足している ② ある程度満足している ③ 普通
 ④ あまり満足していない ⑤ 不満である
- Q2. その中でご興味を持たれた内容は何ですか？**
 ① Message ② 中期事業方針の進捗 ③ TOPICS
 ④ 連結財務諸表 ⑤ 事業別業績サマリー ⑥ 会社概要 ⑦ 株式情報
- Q3. 今回のFINANCIAL REPORTをご覧になられて、当社の現状をどのように評価されますか？**
 ① 当社BPO事業の将来性や成長性
 (期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
 ② 注力分野「フランティ事業」
 (期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
 ③ BPO拠点の拡大展開
 (期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
 ④ 業績内容
 (期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
 ⑤ 投資利回り
 (期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
- Q4. 当社の株主還元政策として、何を最も期待されますか？**
 ① 安定配当 ② 株式分割の実施 ③ 株主優待制度の導入
 ④ その他 ()
- Q5. 当社のIR活動に関して、何をもっと充実すべきと思われますか？**
 ① 株主通信 ② ホームページ ③ 株主総会
 ④ 個人投資家向け説明会の開催
 ⑤ その他 ()
- Q6. 当社株式の今後の保有方針等をお教えください。**
 ① 中長期的に保有する ② 短期で考えている ③ 買い増しする
 ④ 投資収益に応じて売却する ⑤ 未定
- Q7. その他、ご意見・ご要望等をご自由にご記入ください。**

ご協力ありがとうございました。

平成 26 年 12 月 25 日

株主各位

2015 年 3 月期中間株主通信の一部訂正についてのお詫び

2015 年 3 月期中間株主通信の記載事項のうち、一部に訂正箇所がありました。

訂正箇所

10 ページ

(誤) 発行可能株式総数	30,862,400 株
発行済株式総数	106,752,000 株
(正) 発行可能株式総数	106,752,000 株
発行済株式総数	30,862,400 株

株主の皆様には、混乱を招く記載がございましたことを深くお詫び申し上げるとともに、今後、このようなことが無いよう確認体制を強化してまいります。

この度はご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

以上